環境標語(2014年公募作品)~マイ箸を 持ってつながる 小牧市民~(山内 果音さんの作品)



市民がつくる環境都市こまき

編集:こまき環境市民会議

小牧市は環境都市宣言のまち(平成17年11月施行)

"心も掃ける"清掃活動

明日のために、地域ぐるみで子どもたちを育てよう

やがて地域を担う子どもたち。地域を良くするも、悪くするも子どもたちが 何を身につけるかで決まります。

子どもたち参加の清掃活動は、規範意識を育て、思いやりの心・お役立ちの 心を育て、さらには地域への愛着心をも育みます。場を掃けば心も掃けます。

子どもは、ほめられ、はげまされて育ちます

- **小学生** ・まちの人にお礼を言われたり、はげまされ るとうれしくなる。
 - 拾ったあとのきれいな道が気持ちいい。
 - まちが好きになった。(転校児童)

- 中学生 ・ 通りがかった地域の人からの声かけがとて も嬉しいし、励みになる。
 - まちが清潔になり、活動を誇りに思う。
 - きれいにした道を汚されると腹が立つ。



- 子どもが生き生きして活動に参加している。
 - ・弟や妹、お友だちを清掃活動に誘うようになった。
 - ポイ捨てをする子を注意するようになった。



まちをきれいにするんだ!

(米野さわやか会

清掃活動は、もともと思いやり活動の一つですが、成果が見た目に明らかであり、達成感 が得られやすく、まわりからも感謝されることが多いため、規範意識が育ち、お役立ちの心 地よさが実感できる活動です。



かけがえのない子どもたちの"心育てのプログラム"です。



子どもたちと共に清掃活動10年の経験から 子どもたち中心の清掃活動、その進め方のご提案

1 家庭では

- ・自宅まわりのごみ、道で気づいたごみはお母さんが、さり気なく拾いましょう。 **親の垂範こそが何よりの「後ろ姿」**です。
- ・地域の清掃活動には、親子で参加しましょう。

2 自治会では

・年に2回「地域清掃の日」を設けて、**親子参加**を呼びかけましょう。**地域3あい事業としての取組み**をお勧めします。

3 小学校では

- ・総合学習の中に、美化活動を根付かせましょう。
- ・美化活動団体や地域の清掃活動への参加を奨励しましょう。
- ・校外学習では、行先での清掃活動を学習メニューとしてはいかがでしょうか。

4 中学校では

- 生徒会などが中心となって、通学路清掃や学校周り清掃などを根付かせましょう。
- ・美化活動団体や、**地域の清掃活動への参加を奨励**しましょう。

5 幼稚園・保育園では

- ·お散歩タイムや遠足などでの清掃行為を定着させましょう。
- ・園内でのお掃除タイムを設けましょう。

6 子ども会では

- ・親子参加の公園清掃を「心育てのプログラム」として、参加を促進しましょう。
- ・公園清掃のついでに、**まわりの道路清掃も**行ってはいかがでしょうか。 (子どもが地域の人にふれることが大切です)

7 老人クラブでは

・清掃活動をクラブのお役立ち活動として、**地域清掃活動には** 「**地域親」として参加**し、子どもたちにふれあいましょう。

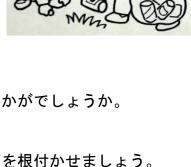
8 美化活動団体では

- ・子どもたち参加の活動を定着させましょう。
- ・学校や地域・子ども会との連携を深めましょう。



子ども参加の地域清掃活動は、地域力向上のシナリオです。

地域清掃活動は、まさに**地域をよくする活動**です。その活動に子どもたちの参加が増えれば、親の参加も増えます。高齢者の参加を促進すれば、世代を超えた人と人、人と地域のつながりも一層強まり、まさに地域力向上のシナリオと言えます。様々な波及効果も確認されています。



1清掃活動の意義

これまで一度も示されてこなかった「清掃」の文言が、新学習指導要領で初めて明記された。 [第5学年及び第6学年] [共通事項]

- (2)日常の生活や学習への適応及び健康安全
- エ「**清掃**などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」

「清掃」の教育的意義をとらえ直し、子どもの実態をふまえた上でどのように指導し、どのように伸ばしていくのか、今後の実践が求められている。

清掃活動の意義は、およそ次のように考えられる。

- (1) 身の回りの環境整理について、いつも清潔な状態を保とうとする態度を育成する。
- (2) みんなで使う場所を大切にすることで、公共心を養う。
- (3) みんなで清潔にしていくことで、集団生活を意識し、協調性を育成する。
- (4) 働くことの意義の理解を促す。

つまり清掃活動は、清掃活動をとおして「美しい場所には美しい心がある」という意識を高め、人間 形成に役立てていく活動なのである。

2